



## ケーブルおよびコネクタ

- ケーブルおよびコネクタ (1 ページ)
- コネクタの仕様 (1 ページ)
- ケーブルおよびアダプタ (3 ページ)

## ケーブルおよびコネクタ

### コネクタの仕様

#### 10/100/1G ポート

スイッチ上の 10/100/1G イーサネットポートには RJ-45 コネクタを使用します。

図 1: 10/100/1G ポートのピン割り当て

Pin	Label	1 2 3 4 5 6 7 8
1	TP0+	
2	TP0-	
3	TP1+	
4	TP2+	
5	TP2-	
6	TP1-	
7	TP3+	
8	TP3-	

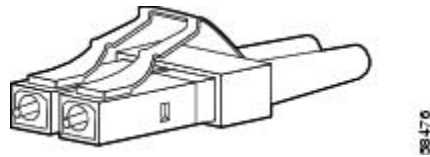


(注) コネクタ ピン 1、2、3、および 6 は PoE に使用されます。

## SFP モジュールコネクタ

次の図に、SFP モジュールスロットで使用する LC 型コネクタを示します。これは、光ファイバケーブルコネクタです。

図 2: 光ファイバ SFP モジュールの LC コネクタ



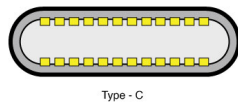
### 警告 ステートメント 1051 - レーザー放射

接続されていない光ファイバケーブルやコネクタからは目に見えないレーザー光が放射されている可能性があります。レーザー光を直視したり、光学機器を使用して直接見たりしないでください。

## コンソールポート

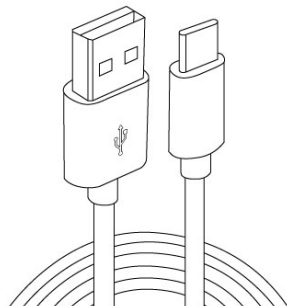
スイッチにはコンソールポートとして、前面パネルの USB-C ポート（下の図を参照）と、背面パネルの RJ-45 コンソールポートの 2 つがあります。

図 3: USB-C ポート



USB コンソールポートには、図に示す USB-C ケーブルを使用します。USB-C ケーブルは付属していません。

図 4: USB-C ケーブル



RJ-45 コンソールポートでは 8 ピン RJ-45 コネクタを使用します。付属の RJ-45/DB-9 アダプタケーブルは、スイッチのコンソールポートとコンソール PC の接続に使用します。

## アラームポート

スイッチパネルにあるアラームコネクタのピン割り当て用のラベルを以下に示します。

ラベル	接続
NO	アラーム出力のノーマルオープン (NO) 接続
COM	アラーム出力のコモン接続
NC	アラーム出力のノーマルクローズ (NC) 接続
IN2	アラーム入力 2
REF	アラーム入力の基準アース接続
IN1	アラーム入力 1

## ケーブルおよびアダプタ

### SFP モジュールのケーブル

各ポートはケーブルの両端の波長仕様が一致している必要があります。また、通信の信頼性を高めるため、ケーブル長は制限を超えてはいけません。サポートされている SFP モジュールとケーブルの完全なリストについては、データシートを参照してください。



- (注) ・スイッチの最大動作温度は、使用している SFP モジュールの型式によって異なります。

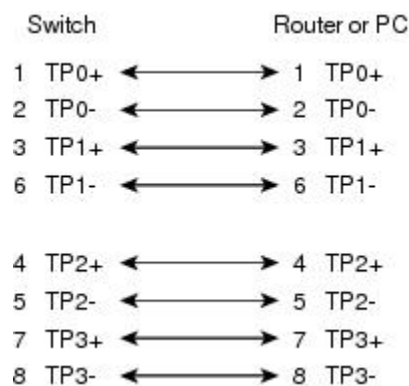


- (注) モジュール SFP-10G-ER-I および ONS-SI+-10G-ER を使用する場  
合、5°C の温度ディレーティングが必要です。

- ・モード帯域幅はマルチモード ファイバだけに適用されます。
- ・モードフィールドの直径/クラッドの直径 = 9 マイクロメートル/125 マイクロメートル
- ・1000BASE-LX/LH SFP モジュールと MMF を使用しており、リンク距離が短い場合、モード調整パッチコードが必要です。普通のパッチコードを使用すると、トランシーバが飽和状態になり、ビットエラーレート (BER) が上昇することがあります。直径 62.5 ミクロンの MMF を備えた LX/LH SFP モジュールを使用する場合はさらに、リンクの送信側および受信側の両方で、SFP モジュールと MMF ケーブルの間にモード調整パッチコードを取り付ける必要があります。モードコンディショニングパッチコードは、リンク距離が 984 フィート (300 m) を超える場合に必要になります。
- ・1000BASE-ZX SFP モジュールは、分散シフト型 SMF または低減衰 SMF を使用することによって、最大 62 マイル (100 km) 先までデータを送信できます。この到達距離はファイバ品質、スプライス数、およびコネクタに依存します。
- ・光ファイバケーブルの長さが 25 km (15.43 マイル) 未満の場合は、光ファイバケーブルプラントと 1000BASE-ZX SFP モジュールの受信ポートの間に、5 dB または 10 dB のインライン光減衰器を取り付けます。

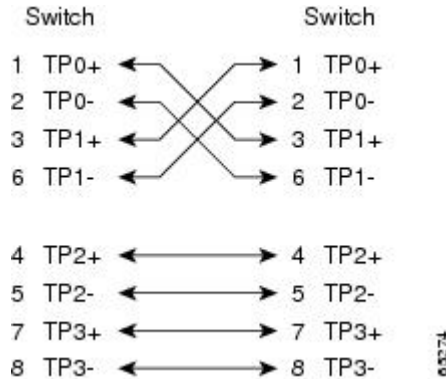
## ケーブルのピン割り当て

図 5: 1000BASE-T ポート用の 4 対のツイストペアストレートケーブルの配線



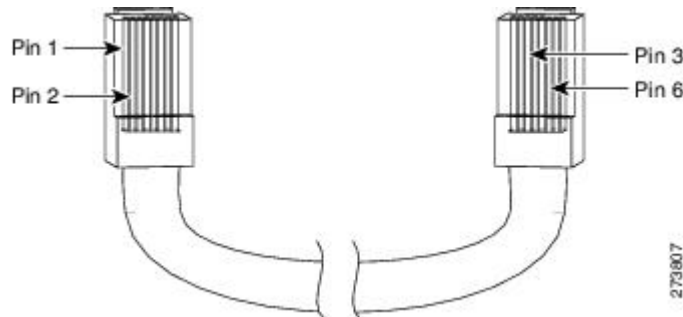
03371

図 6: 1000BASE-Tポート用の4対のツイストペアクロスケーブルの配線



クロスケーブルかどうかを判断するには、タブを後ろにして、ケーブル端を並べて持ちます。左側のピン1に接続する導線は、右側のピン3に接続する導線と同じ色にする必要があります。左側のピン2に接続する導線は、右側のピン6に接続する導線と同じ色にする必要があります。

図 7: クロスケーブルの識別



## コンソールポートアダプタのピン割り当て

コンソールポートでは8ピンRJ-45コネクタを使用します。コンソールケーブルを注文しなかった場合は、RJ-45/DB-9アダプタケーブルでスイッチのコンソールポートとPCのコンソールポートを接続する必要があります。スイッチのコンソールポートを端末に接続する場合は、RJ-45/DB-25メスDTEアダプタが必要です。

スイッチコンソールポート (DTE)	RJ-45/DB-9 端末アダプタ	コンソール装置
信号	DB-9 ピン	信号
RTS	8	CTS
DTR	6	DSR
TxD	2	RxD

スイッチコンソールポート (DTE)	RJ-45/DB-9 端末アダプタ	コンソール装置
GND	5	GND
RxD	3	TxD
DSR	4	DTR
CTS	7	RTS



(注) RJ-45/DB-25 メス DTE アダプタが別途必要です。

スイッチコンソールポート (DTE)	RJ-45-to-DB-25 アダプタ	コンソール装置
信号	DB-25 ピン	信号
RTS	5	CTS
DTR	6	DSR
TxD	3	RxD
GND	7	GND
RxD	2	TxD
DSR	20	DTR
CTS	4	RTS

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。